

# 聖徳太子

緑南中学校  
1年C組  
白木 妃南

# 聖徳太子

## 功績の数々

574年 太子とは、死後につけられた名前、生前は厩戸皇子（うまやどののおうじ）と呼ばれていた。聖徳太子は蘇我氏と非常に血縁が深い皇子であり、蘇我馬子は大叔にあたる。

593年、推古天皇が即位すると摂政に任命され政治を担い、蘇我皇子と協力して天皇中心の中央集権国家を目指し、大化の改新を起す、中大兄皇子と中臣鎌足への政治への改革である。その思想のちに、天皇中心の政治への改革である。その思想のちに、天皇中心の政治への改革である。その思想のちに、天皇中心の政治への改革である。



と継承されていきます。聖徳太子は豊聡耳（よごとみみ）とも呼ばれていました。豊聡耳とは同時に復讐人の話を聞き分けて理解できるほど聡明な人物という意味です。非常に優れた人物として現在まで語り継がれています。

## 七回紙幣の肖像になる

1930年（昭和5年）に発行が始まった100円券に初めて採用されて以来、「銀行券の顔」として最も多く登場しています。聖徳太子像がこれだけ多く使われた理由として「十七条の憲法」を制定したり、仏教を伝へ保護

## 遣隋使

飛鳥時代、隋に派遣された公式の使節。聖徳太子が隋の文化や制度を採取する目的で派遣。十七条憲法や冠位十二階制といった政策は遣隋使の持ち帰った情報を参考に、聖徳太子が考案したと考えられています。

2度目の遣隋使で、よりやく隋と正式な国交を結んだ日本は、その後、教回にわたって使節を派遣します。裴世清を隋へ送り出すために派遣されたときに、多くの留学生が同行し、隋の技術や文化を学びました。

## 法隆寺

607年飛鳥時代に建てられた世界最古の木造建造物。670年に火事で全焼しました。その後再建されたのが、今の法隆寺の建物です。

1993年には世界文化遺産に登録され、その境内にある建築物の多くは国宝にも指定されています。



## 我が国初の階級制度

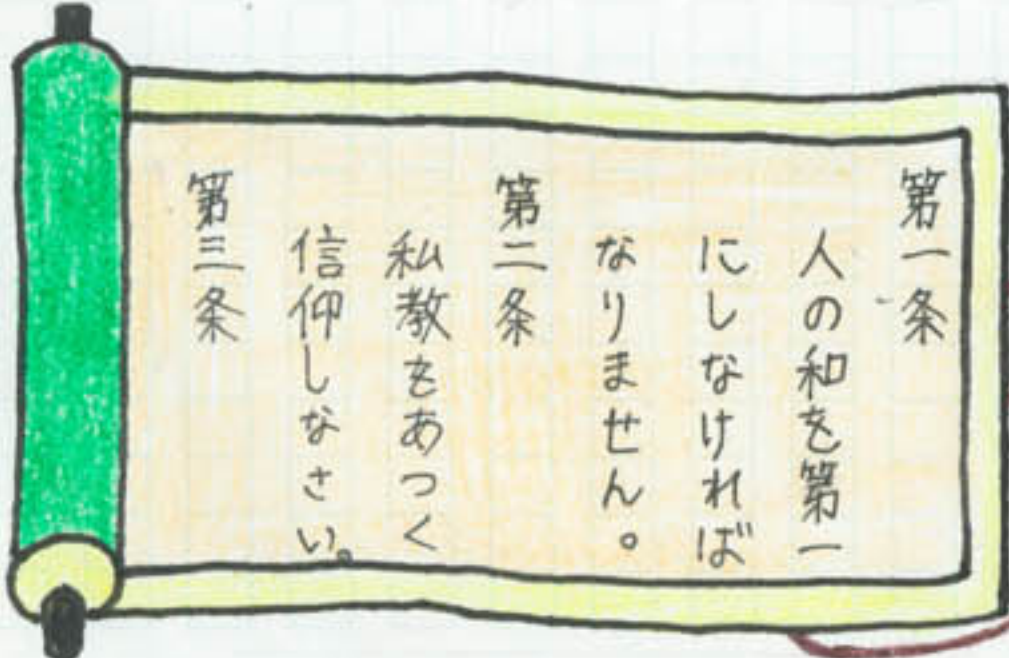
### 冠位十二階

身分の上下に関わらず能力のある者を役人に登用する決まり。「徳・仁・礼・信・義・智」の儒教の徳目に分けられ、紫・青・赤・黄・白・黒の冠の色にそれぞれ濃淡を

大徳	小徳	大仁	小仁	大礼	小礼
濃紫	薄紫	濃青	薄青	濃赤	薄赤
大信	小信	大義	小義	大智	小智
濃黄	薄黄	濃白	薄白		薄黒

## 十七条の憲法

604年に制定された成文法。その名のとおり全部で17の条文で構成されています。憲法といっていますが日本国憲法のような近代憲法とは異なり、官僚や貴族に対する道徳的な規範を示す色合いが濃いのが特徴です。



- 第一条 人の和を第一にしなればなりません。
- 第二条 私教をあつく信仰しなさい。
- 第三条

## 祖母が持っていた聖徳太子の紙幣



## 編集後記

改めて、憲法や制度を確かめられて楽しかったです。この聖徳太子という歴史人物の事をくわしく知れて良かったです。また他の人物についても調べてみたいですね。